

伊東東郷記念館 **案内人**によるミニ講話

伊東を愛した文人墨客と別荘

～尾崎士郎の文学と佐藤十雨との交遊奇談～



◎ 井田別荘（広野）居住の頃の、尾崎士郎と長男 依士さん。（尾崎士郎文学碑保存会蔵）

<尾崎士郎と長男>



<『肝臓先生』の表紙を飾る尾崎士郎の画>



<佐藤清一【俳号：十雨】>

尾崎士郎は、昭和8年に『人生劇場 青春篇』を発表し、川端康成の激賞を受け、脚光を浴びた作家である。作者自薦の作品には『篝火』がある。

昭和19年から29年まで伊東に別荘を借りて住み、多くの若者や知識人と交流して、伊東の文化向上に貢献した。

親交を深めたひとりに、天城診療所所長の**佐藤清一医師（通称肝臓先生）**がいる。佐藤医師から材を得て、尾崎士郎は『ホーデン侍従』を書き、坂口安吾は『肝臓先生』を書き上げた。

佐藤医師は俳人でもあり号を十雨という。世紀の発見といわれる曾良の『奥の細道随行日記』を世に出すきっかけを作った人物である。

尾崎士郎については、伊東で書きあげた『謫居随筆』を紹介しながら作家像に触れ、肝臓先生に関しては、尾崎士郎や坂口安吾ら文学者との交遊奇談を交えてその人物像にせまり、伊東への多大な貢献につき思いを馳せてみたい。

日 時： **2018年12月18日（火）** <10:00～12:00>

場 所： 伊東市 伊東東郷記念館（旧東郷別荘） 住所：伊東市渚町3-8

※藤の広場より東郷小路を歩いて100m

入館料： 200円/1人（大人・高校生以上）

申込み： 事前申込みはなくてもOKです

問合せ： 伊東観光番（10:00～16:00） 電 話： 0557-37-3550